

# Group von Neumann algebras associated with non-unimodular locally compact groups

静岡大学 工学部 関根 義浩 (Yoshihiro Sekine)

## 1 序論

モジュラー理論における基本的な結果のひとつとして知られている「フォン・ノイマン環  $M$  のモジュラー作用  $\sigma$  による接合積  $M \rtimes_{\sigma} \mathbf{R}$  は半有限である」は、「局所コンパクト群  $G$  の  $\mathbf{R}$  へのモジュラー関数により定義される作用  $\alpha$  による半直積  $\mathbf{R} \rtimes_{\alpha} G$  はユニモジュラーになる」という古典的な結果のアナロジーと考えることができる。特に、 $M$  として局所コンパクト群  $G$  の左正則表現から生成される群フォン・ノイマン環  $\lambda(G)$  を考えると、モジュラー作用による接合積  $\lambda(G) \rtimes_{\sigma} \mathbf{R}$  とユニモジュラー群  $\mathbf{R} \rtimes_{\alpha} G$  の左正則表現から生成される群フォン・ノイマン環  $\lambda(\mathbf{R} \rtimes_{\alpha} G)$  という2つの半有限なフォン・ノイマン環が得られる。素朴な疑問として、これらのフォン・ノイマン環は同型であるかどうか気になるが、本稿でこれら2つのフォン・ノイマン環の関係について述べたいと思う。ただし、このことについて書かれている文献はないようであるが、専門家にとってはよく知られていることだと思われる。

## 2 結果

以下、 $G$  を局所コンパクト群とし、 $G$  上の左不変ハール測度を  $\mu$  とする。  $\Delta$  を  $G$  のモジュラー関数とし、 $G$  の実数全体の加法群  $\mathbf{R}$  への作用  $\alpha$  を

$$\alpha_g(t) = \Delta(g)t, \quad g \in G, t \in \mathbf{R}$$

によって定義すれば、半直積  $\mathbf{R} \rtimes_{\alpha} G$  はユニモジュラーになる。したがって、この群の左正則表現から生成される群フォン・ノイマン環  $\lambda(\mathbf{R} \rtimes_{\alpha} G)$

は半有限である。一方、 $G$  の左正則表現から生成される群フォン・ノイマン環  $\lambda(G)$  上の荷重  $\varphi$  を

$$\left\langle \varphi \left( \int_G x_g \lambda_g d\mu(g) \right), x_e \right\rangle = 1$$

( $e$  は  $G$  の単位元) によって定義すれば、モジュラー作用  $\sigma^\varphi$  は

$$\sigma_t^\varphi(\lambda_g) = \Delta(g)^{-it} \lambda_g, \quad g \in G, t \in \mathbf{R}$$

となる。

このとき、次のことが成り立つ。

**Proposition 1**  $\lambda(\mathbf{R} \rtimes_\alpha G)$  は  $L^\infty(\mathbf{R}) \rtimes_{\tilde{\alpha}} G$  に同型である。ここで、 $G$  の  $L^\infty(\mathbf{R})$  への作用  $\tilde{\alpha}$  は

$$(\tilde{\alpha}_g(f))(t) = f(\Delta(g)t), \quad f \in L^\infty(\mathbf{R}), g \in G, t \in \mathbf{R}$$

により与えられる。

**Proposition 2**  $\lambda(G) \rtimes_{\sigma^\varphi} \mathbf{R}$  は  $L^\infty(\mathbf{R}) \rtimes_\beta G$  に同型である。ここで、 $G$  の  $L^\infty(\mathbf{R})$  への作用  $\beta$  は

$$(\beta_g(f))(t) = f(t + \log \Delta(g)), \quad f \in L^\infty(\mathbf{R}), g \in G, t \in \mathbf{R}$$

により与えられる。

**Corollary 3**  $\lambda(\mathbf{R} \rtimes_\alpha G)$  は  $(\lambda(G) \rtimes_{\sigma^\varphi} \mathbf{R}) \oplus (\lambda(G) \rtimes_{\sigma^\varphi} \mathbf{R})$  に同型である。